

土木・造園科

造園実習

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2	
担当教員	小山恵久、鶴田真二			実務経験	有	職種	施工管理（小山、鶴田）					

授業概要

土壤の特性、土壤改良、樹木・草花の取扱い、芝生の造成等について、実習を通じて学ぶ。

到達目標

植物およびその生育に必要な環境（土壤、日照、水分等）について理解すること、植物によって異なる性質を理解し、個々の性質に適した作業を行うことができること、作業を安全に進めるための手順や注意点について理解すること、準備・片付け・清掃も「しごとの一環」であることを理解すること、自分と考え方も能力も違う仲間とコミュニケーションをとって協働作業を成立させることができることを到達目標とする。

授業方法

屋外での実習を基本とする（天候等により授業内容、順序等を変更する場合がある）。実習中はメモ帳を携帯し、気づいたことはその場でメモを取り、教員に質問をしたり、テキストで復習をしたりすることを求める。グループワークを基本とし、教員主導ではなく、各グループがメンバー同士でコミュニケーションを取りながら課題に取り組むことを原則として、授業を進める。実習前の準備や実習後の片づけも重視する。

成績評価方法

実習への取り組み、到達度を総合的に評価する。

履修上の注意

実習には危険を伴う作業も含まれるため、レクチャー中および実習中の私語などには厳しく対応する。服装は作業に適したものであること（サンダル、短パン等不可）。ヘルメットや手袋の着用など、教員の指示に従うこと。着替えは始業前に済ませておくこと。高い気温の中での作業時には水分の補給を認めるが、水・お茶類・スポーツドリンクのみとする。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。

教科書教材

造園施工必携日本造園組合連合会

回数	授業計画
第1回	土の種類と特性、土壤改良材
第2回	～5回花壇の植栽デザイン、草花の植え付け
第6回	肥料、殺虫剤、殺菌剤

第 7 回	～ 1 2 回植栽管理（剪定、芝刈等）
第 1 3 回	木工
第 1 4 回	道具の手入れ
第 1 5 回	根系と光合成